



二月 (閏) 如月 室宿

二月四日立春の節より
月命戌寅八白土星の月
暗剣殺東北方

旧正月大
二月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月史	満潮	干潮
1日	土	きのえ いぬ	八白	福井永平寺涅槃會撰心(7日迄) 旧正月大	八	友引	おさん	胃	めもん	6.42	17.08	10.40	23.47
2日	日	きのと	九紫	●上弦一〇時四二分、 尾鷲まつり(1日~5日)	九	先負	ひらく	昴	月とく	6.41	17.09	11.09	9.07
3日	月	ひのえ	ね 一白	節分、豆まき、奈良春日大社万灯籠、 一粒万倍日	十	佛滅	とづ	畢	きこ	6.40	17.10	11.09	22.53
4日	火	ひのとうし	二黒	立春一八時〇三分、一粒万倍日、 不成就日	十一	大安	とづ	觜	神よし	6.39	17.11	12.18	11.28
5日	水	つちのえとら	三碧	天しゃ、小つち	十二	赤口	たつ	参	よろづ	6.39	17.12	13.02	20.37
6日	木	つちのとう	四緑	新宮神倉神社火祭	十三	先勝	のぞく	井	神よし	6.38	17.13	13.53	21.25
7日	金	かえ たつ	五黄	北方領土の日	十四	友引	みつ	鬼	天おん	6.37	17.14	14.52	22.11
8日	土	かのと	み 六白	こと始め、針供養、旧小正月	十五	先負	たいら	柳	天おん	6.36	17.15	15.59	22.55
9日	日	みづのえうま	七赤	○望一六時三分、初午、京都伏見稲荷初午祭、 笠間稲荷初午祭、一粒万倍日	十六	佛滅	さだん	星	神よし	6.35	17.16	17.10	23.38
10日	月	みづのひつじ	八白	加賀菅生石部祭、福島信夫三山眺参り	十七	大安	とる	張	天おん	6.34	17.17	18.22	—
11日	火	きのえ さる	九紫	●建国記念の日、奈良橿原神宮例祭、 十方くれ入り	十八	赤口	やぶる	翼	大みやう	6.33	17.18	19.35	12.33
12日	水	きのと	一白	不成就日	十九	先勝	あやぶ	軫	十し	6.32	17.19	20.46	13.11
13日	木	ひのえ いぬ	二黒	旧二十日正月	廿	友引	なる	角	●	6.31	17.20	21.56	13.50
14日	金	ひのと	三碧	聖バレンタインデー、 奈良長谷寺だだ押し、三隣亡	廿一	先負	おさん	亢	大みやう	6.30	17.21	23.04	14.33

暦日上二月初頭には「立春」という春めいた節日が設けられているが、気候的、気温的には、雪または冷雨の日が多く、まだまだ寒波、寒風の荒れ狂うときである。【冠】とくにこの項に入れることでもないが、「立春」は陰暦の正月で、太陰太陽暦を使用する東洋の古い上の新年の起点とされている。したがって表紙裏の年齢早見表にも説明があるように、立春前日の節分までが、前年の生まれ年になる。この月は一カ月最少日の特異月で、しかもほぼ四年一回閏日がある。【婚】婚礼に直接関係ないが、十四日は「聖バレンタインデー」といい、欧米ではこの日、女性から男性にプロポーズをしてもいいという風習がある。【祭】節分は、本来は四季の移り変わる時々のことをいうのであるが、とくに暦上の一年の最初の日の立春の前日で、地方によっては旧暦の大晦日(おみそか)として、それぞれ伝統ある行事が行われている。一般的には「福は内、鬼は外」と福豆(大豆の炒ったもの)をまき、この豆を年齢の数(地方によっては一粒多く)だけ食べる厄よけがある。終(ひいらぎ)の枝にイワシの頭をさしたり、ニンニクなど強い臭気のあるものを添え「邪気」よけを行う風習もある。福豆をまき悪鬼を払うので追儺(おにやらい)といふ古くから神社仏閣で、この儀式は年男により行われている。十一日は「建国記念の日」として、国民の祝日になっている。二十三日は「天皇誕生日」である。令和の年号にふさわしい天皇家のご繁栄をお祈り申し上げる。

15日	土	つちのえ	ね 四緑	全国緑化キャンペーン、ねはん会、 横手かまくら、岡山西大寺会陽裸祭	廿二	佛滅	ひらく	氏	母倉	6.29	17.22	—	15.24
16日	日	つちのとうし	五黄	●下弦七時一七分、日蓮聖人誕生会、 全国狩猟禁止、一粒万倍日	廿三	大安	とづ	房	きこ	6.28	17.23	10.56	16.39
17日	月	かえとら	六白	伊勢神宮祈年祭(23日迄)、 八戸えんぶり(20日迄)	廿四	赤口	たつ	心	ぶく日	6.27	17.24	11.37	18.23
18日	火	かのと	七赤	アレルギー週間(17日~23日)	廿五	先勝	のぞく	尾	く辰日	6.26	17.25	12.23	19.50
19日	水	みづのえとら	八白	雨水一三時五七分	廿六	友引	みつ	箕	大みやう	6.24	17.26	13.14	20.52
20日	木	みづのとみ	九紫	水戸梅まつり(3月31日迄)、天二天上、 不成就日	廿七	先負	たいら	斗	ぢう日	6.23	17.27	14.08	21.41
21日	金	きのえうま	一白	二の午、一粒万倍日	廿八	佛滅	さだん	牛	神よし	6.22	17.28	15.05	22.22
22日	土	きのと	二黒	福井勝山左義長祭	廿九	大安	とる	女	大みやう	6.21	17.29	16.03	22.58
23日	日	ひのえ さる	三碧	●天皇誕生日、 京都醍醐寺五大力尊仁王会	卅	赤口	やぶる	虚	月とく	6.20	17.30	17.01	23.30
24日	月	ひのとり	四緑	振替休日、●朔〇時三分、 大田原大田山地蔵尊春大祭	朔	友引	あやぶ	危	十し	6.19	17.31	17.58	23.59
25日	火	つちのえいぬ	五黄	京都北野天満宮梅花祭、二日灸、 不成就日	二	先負	なる	室	●	6.17	17.32	18.54	23.59
26日	水	つちのとみ	六白	良忍上人忌、三隣亡	三	佛滅	おさん	壁	母倉	6.16	17.33	19.49	23.59
27日	木	かえ	七赤	鹿兒島霧島神宮お田植祭	四	大安	ひらく	奎	母倉	6.15	17.34	20.44	23.59
28日	金	かのと	八白	一粒万倍日	五	赤口	とづ	婁	月とく	6.14	17.34	21.39	23.59
29日	土	みづのえとら	九紫		六	先勝	たつ	胃	大みやう	6.12	17.35	22.36	24.08

プレゼントするならわしをまねて、女性から男性にわたすチョココレットなどが盛んに売られるようになった。【祭】節分は、本来は四季の移り変わる時々のことをいうのであるが、とくに暦上の一年の最初の日の立春の前日で、地方によっては旧暦の大晦日(おみそか)として、それぞれ伝統ある行事が行われている。一般的には「福は内、鬼は外」と福豆(大豆の炒ったもの)をまき、この豆を年齢の数(地方によっては一粒多く)だけ食べる厄よけがある。終(ひいらぎ)の枝にイワシの頭をさしたり、ニンニクなど強い臭気のあるものを添え「邪気」よけを行う風習もある。福豆をまき悪鬼を払うので追儺(おにやらい)といふ古くから神社仏閣で、この儀式は年男により行われている。十一日は「建国記念の日」として、国民の祝日になっている。二十三日は「天皇誕生日」である。令和の年号にふさわしい天皇家のご繁栄をお祈り申し上げる。